

# 住宅の気密性能試験結果(1)

依頼者	会社名又は氏名	紺野建設㈱	電話	0156-62-2362
	住所		北海道上川郡清水町南3条8丁目1	

測定対象建物の概要		
建物の名称	●●●●邸	
所在地	上川郡清水町	
竣工年月日	2018年4月5日	
構造及び工法	在来木造工法	
建物の規模	地階床面積	- m <sup>2</sup>
	1階床面積	- m <sup>2</sup>
	2階床面積	- m <sup>2</sup>
	3階床面積	- m <sup>2</sup>
	延べ床面積	0 m <sup>2</sup> (A)
開口部の仕様	窓	2重窓(外開き)
	玄関戸	外開き戸
主な部位の気密層の仕様	防湿気密シート施工0.2mm	
建物概要図	別紙添付図面の通り	
通気量を測定した位置	添付平面図に示す	

測定時の建物条件				
	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理)
1	建物外被にあるドア・窓	ロック(施錠)のみ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	なし	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	シャッター閉または目張り	○	
7	台所レンジファン	シャッター閉または目張り	○	
8	換気扇・天井扇	シャッター閉または目張り	○	
9	FF以外の煙突の穴	ダンパー閉または目張り	○	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を目張り	○	
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	テープ処理または目張り	○	
12	建物外被の外側にある開口部	普通に開けた状態	なし	
測定対象外にした部分(空間)の名称		なし		
同上で延べ床面積に含まれる床面積		- m <sup>2</sup> (B)		
吹抜け・床下・小屋裏等の測定対象容積		441.54 m <sup>3</sup> (C)		
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)		169.82 m <sup>2</sup> S = (A) - (B) + ((C) ÷ 2.6m)		
測定対象とした建物の外被内容積		441.54 m <sup>3</sup> (漏気回数を求めるときに記入すること)		

注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付けること

# 住宅の気密性能試験結果(2)

●●様邸

測定者・測定方法・測定装置							
事業所	(株)ダンネツ帯広支店	事業所 登録番号	0028	測定 担当者	高橋 彰	登録番号	05761-19
所在地	帯広市西20条北2丁目27番地10				電話番号	0155-41-4101	
測定方法	(財)建築環境・省エネルギー機構(住宅の気密性能試験マニュアル) 2000年6月 減圧法 その他の方法による場合:						
測定装置	コーナー札幌株式会社 KNS-5000C型						

試験日時	2018年4月5日 13時30分		
測定時の状態	天候	晴れ	
	室内温度	12.6 °C	
	外気温度	7.4 °C	
	風速	m/s	

測定点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
圧力差: $\Delta P$ (Pa)	22.4	23.2	36.6	49.7	65.2					
通気量: $Q$ (m <sup>3</sup> /h)	193	247	339	375	486					

隙間特性値: $n$ ( $1 < n <= 2$ )	1.25
通気率( $\Delta P=1$ Pa時の通気量): $a$	17.8 m <sup>3</sup> /h $\cdot$ Pa <sup>1/n</sup>
$\Delta P=9.8$ Paにおける通気量: $Q_{9.8}$	110.0 m <sup>3</sup> /h
総相当隙間面積: $\alpha A$ (cm <sup>2</sup> )	77 cm <sup>2</sup>
相当隙間面積: $C$ (cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> )	0.5 cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>
参考:50Pa時の漏気回数(ACH)	0.9 回/h ( $\Delta P=50$ Pa時の通気量 397 m <sup>3</sup> /h)

